

「マイ・タイムライン」を作ってみましょう！

マイ・タイムライン（防災行動計画）とは

「タイムライン」とは、台風や大雨による水害などの発生時の状況を想定し、「いつ」「誰が」「何をするか」という行動計画のことをいいます。

「マイ・タイムライン」（ご自身の防災行動計画）を作成し、自分の家族構成や生活環境に合わせて、あらかじめ避難行動を時系列で整理しておくことで災害時に取るべき行動や避難を落ちついて判断することができます。

マイ・タイムラインに期待される効果

- 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
 - 災害時の判断をサポート
- これらにより、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果があります！

マイ・タイムラインの作成にあたって

- 住んでいる地域の災害リスクを調べましょう
御代田町土砂災害防災マップやインターネットを活用し、住んでいる地域に土砂災害等の危険があるか、調べましょう。
- 避難場所・避難経路を複数考えておきましょう
御代田町土砂災害防災マップなどを用いて、避難場所や避難経路、どのような方法で避難するかを考えましょう。



町が発行している土砂災害防災マップ

県のホームページにマイ・タイムラインの様式が掲載されていますのでご活用ください。
印刷された様式が必要な方は、総務課情報防災係（役場 2 階 14 番窓口）まで、お越しください。

風水害から身を守る！
「マイ・タイムライン」をつくってみよう！

知って備える	①住んでいる地区の災害リスクを知る	MEMO
	②避難場所・経路を調べる	
	③警報等の内容を調べてどんな行動をとるか知る	
	④災害発生前後の情報収集方法を調べる	
状況	気象・避難情報	あなたの行動
大雨発生の可能性	レベル1 早期注意情報 (警報級の可能性)	
重大災害の兆候	レベル2 注意報	

重大災害のおそれ	レベル3 避難準備・高齢者等避難開始
重大災害発生確率大	レベル4 避難勧告・避難指示(緊急)
災害発生	レベル5 災害発生情報

★家族や親戚の情報

名前	電話番号	必需品	昼の居場所	備考
例)防災 太郎	090-*****	持病薬		

県ホームページに掲載されている様式

Q 浅間山の火山防災体制について教えてください

気象庁、浅間山周辺自治体、大学などの調査研究機関などでは「顔の見える関係」を築き、土地勘のある地域密着の火山防災（浅間山モデル）を構築していきたいと考えています。

気象庁浅間山火山防災連絡事務所では、住民の皆さまを対象とした勉強会などを通して、浅間山について理解を深める取組も行ってきました。

新型コロナウイルス感染症が収束した際には、こうした機会を再び設けていくことができると思います。

浅間山では突発的な噴火が発生する可能性もありますので、異常を感じた際には、町や気象庁浅間山火山防災連絡事務所まで遠慮なくお問い合わせください。

住民の皆さまに日ごろ注意してほしいこと

- 「浅間山の噴火警戒レベル」を把握しておきましょう
→気象庁や町のホームページをご覧ください。
- 普段の生活の中で噴煙を見る習慣を心がけましょう
※浅間山では、昔から噴火が近づくと噴煙の量が急に増えたり、色が黒みがかってくるといわれています。
例えば…「噴煙の量が増えていないか」「噴煙が高く上がったり、モクモクと煙が出ていたりしていないか」「火山ガスの臭いがしていないか」
- 実際に噴火が起きたときのことを考えておきましょう
例えば…「噴火したときの振動（地震や空振）や音を感じたら」
→山側の窓から離れましょう。
「火山灰（降灰）が降ってきたら、降灰が予想されるときは」
→マスクやメガネ（ゴーグル）を準備しましょう。
- 何か変だな？と思ったり、いつもと様子が違うな？と感じたりした場合は…
→遠慮なく、町や気象庁浅間山火山防災連絡事務所（45）2167へご連絡、ご相談ください。
科学的根拠のないデマ（いつ噴火するとか）うわさ話（不確実なSNSの内容など）を鵜呑みにしないようにしましょう。

問い合わせ先 ●総務課情報防災係 (32)3111 ●気象庁浅間山火山防災連絡事務所 (45)2167

浅間縄文ミュージアムで浅間山について学びましょう

エコールみよた内にある浅間縄文ミュージアムでは、浅間山の自然や地形、火山活動史、四季の浅間山の風景、浅間山の構造、火口の様子、浅間山麓の植物などの展示を行っています。



浅間縄文ミュージアム2階展示室

問い合わせ先 浅間山縄文ミュージアム (32)8922